



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)中野 光雄  
 問合せ先責任者 (役職名)専務執行役員 (氏名)三木 康史 TEL 03-3665-7612  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	8,830	18.1	860	162.5	796	149.6	327	118.5
22年3月期第1四半期	7,476	△29.3	327	△62.1	319	△59.1	149	△62.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	3 08	—
22年3月期第1四半期	1 41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	41,369	12,537	30.2	117 59
22年3月期	42,796	12,462	29.0	116 92

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 12,485百万円 22年3月期 12,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	2 00	2 00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0 00	—	2 00	2 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	6.6	1,800	31.2	1,700	34.1	800	117.0	7 53
通期	35,000	4.3	3,700	16.0	3,400	16.3	1,600	112.4	15 06

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は〔添付資料〕P.4 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ( ) 除外 一社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	108,000,000株	22年3月期	108,000,000株
② 期末自己株式数	1,819,211株	22年3月期	1,812,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	106,183,046株	22年3月期1Q	106,254,520株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、エコポイント制度などの経済対策と輸出により企業収益が改善し、景気の自律的な回復への期待が高まる一方で、欧州の財政問題の影響が新たな懸念材料となり、また、円高が加速し、株安傾向も強まるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは紡績、テキスタイル、B. V. D. ®ブランドのインナーウェアを中心とした繊維事業と超精密加工用研磨材の研磨材事業、機能化学品および医薬中間体などの受託製造の化学工業品事業を中心に営業力の強化を進め、収益力の改善、強化に努めました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は8,830百万円(前年同期比1,353百万円、18.1%の増収)で、営業利益は860百万円(前年同期比532百万円、162.5%の増益)、経常利益は796百万円(前年同期比477百万円、149.6%の増益)となりました。また四半期純利益は、327百万円(前年同期比177百万円、118.5%の増益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

## ①繊維事業

製品部門の主要ブランドであるB. V. D. ®では、個人消費低迷の影響が続き販売は苦戦を強いられました。テキスタイル部門は不採算分野の縮小を余儀なくされましたが、紡績部門は構造改革を進めた結果、大幅に収益は改善しました。

この結果、売上高は3,654百万円となり、営業利益は133百万円となりました。

## ②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、景気の回復による受注環境の良化もあり、前年同期比では増収、増益の結果となりました。

この結果、売上高は2,283百万円となり、営業利益は560百万円となりました。

## ③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、引き続き堅調に推移し、フル操業を続けることができました。

この結果、売上高は1,461百万円、営業利益は101百万円となりました。

## ④その他事業

自動車関連部門、精製部門、電子機器製品の産業用プリント基板および化成品などの事業は、前期の後半から受注環境が改善したことなどから収益が改善し、増収、増益となりました。

この結果、売上高は1,431百万円となり、営業利益は67百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて10.2%減少し、15,670百万円となりました。これは、現金及び預金が1,696百万円減少したことなどによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、25,698百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、41,369百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、15,917百万円となりました。これは、設備関係支払手形が474百万円増加しましたが、短期借入金が859百万円、未払法人税等が736百万円減少したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末比微減の12,914百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、28,831百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、12,537百万円となりました。これは、当四半期純利益327百万円が増加し、剰余金の配当の実施により212百万円、評価換算差額等が44百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想につきましては、平成22年5月11日公表時から変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②特有の会計処理

##### 原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰延べております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が4百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が105百万円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,932	4,629
受取手形及び売掛金	8,238	8,342
商品及び製品	1,962	2,022
仕掛品	1,067	1,067
原材料及び貯蔵品	768	730
その他	713	674
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	15,670	17,457
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,306	4,315
土地	14,517	14,505
その他(純額)	5,025	4,599
有形固定資産合計	23,849	23,420
無形固定資産	280	190
投資その他の資産		
その他	1,576	1,740
貸倒引当金	△7	△12
投資その他の資産合計	1,568	1,727
固定資産合計	25,698	25,339
資産合計	41,369	42,796

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,448	4,500
短期借入金	8,552	9,412
未払法人税等	104	841
引当金	264	520
設備関係支払手形	679	205
その他	1,867	1,933
流動負債合計	15,917	17,415
固定負債		
長期借入金	5,035	5,098
退職給付引当金	2,899	3,157
引当金	9	9
資産除去債務	193	—
その他	4,776	4,653
固定負債合計	12,914	12,918
負債合計	28,831	30,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,400	5,400
資本剰余金	0	0
利益剰余金	5,010	4,894
自己株式	△144	△143
株主資本合計	10,266	10,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26	48
繰延ヘッジ損益	△2	1
土地再評価差額金	2,172	2,173
為替換算調整勘定	75	40
評価・換算差額等合計	2,219	2,264
少数株主持分	52	47
純資産合計	12,537	12,462
負債純資産合計	41,369	42,796

## (2) 四半期連結損益計算書

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	7,476	8,830
売上原価	5,338	6,053
売上総利益	2,138	2,776
販売費及び一般管理費	1,810	1,916
営業利益	327	860
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	15
固定資産賃貸料	44	41
補助金収入	39	—
その他	28	9
営業外収益合計	123	67
営業外費用		
支払利息	80	66
固定資産賃貸費用	—	30
その他	51	34
営業外費用合計	132	130
経常利益	319	796
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	4
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	4	7
特別損失		
固定資産処分損	5	19
減損損失	50	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
その他	—	11
特別損失合計	56	133
税金等調整前四半期純利益	267	670
法人税、住民税及び事業税	58	94
法人税等調整額	56	246
法人税等合計	115	340
少数株主損益調整前四半期純利益	—	329
少数株主利益	1	2
四半期純利益	149	327

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	267	670
減価償却費	321	413
減損損失	50	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△68	△258
受取利息及び受取配当金	△11	△16
支払利息	80	66
為替差損益 (△は益)	△19	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3
固定資産処分損益 (△は益)	5	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△135	107
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7	33
仕入債務の増減額 (△は減少)	△446	△58
その他	37	△417
小計	68	665
利息及び配当金の受取額	11	16
利息の支払額	△54	△38
法人税等の支払額	△487	△972
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461	△329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△732	△230
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	4
有形固定資産の除却による支出	△0	△4
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	27	—
貸付金の回収による収入	16	0
その他	—	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△687	△229
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	153	△848
長期借入れによる収入	300	100
長期借入金の返済による支出	△399	△174
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△212	△212
リース債務の返済による支出	△6	△10
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166	△1,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,299	△1,696
現金及び現金同等物の期首残高	5,420	4,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,121	2,932

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	繊維事業 (百万円)	研磨材 事業 (百万円)	化学 工業品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,823	1,737	1,136	778	7,476	—	7,476
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	12	14	(14)	—
計	3,824	1,737	1,136	791	7,491	(14)	7,476
営業利益又は営業損失(△)	△121	342	116	△18	319	8	327

## (注) ① 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品等の種類に応じて繊維事業、研磨材事業、化学工業品事業、その他事業にセグメンテーションしている。

## ② 事業区分の変更

前第1四半期連結累計期間において区分掲記していた「自動車関連事業」は金額的重要性が低下したため、当第1四半期連結累計期間より「その他事業」に含めて表示している。

なお、当第1四半期連結累計期間の「その他事業」に含まれる「自動車関連事業」の売上高は375百万円、営業損失は11百万円である。

## ③ 各区分に属する主要な製品等の名称

これら事業区分に属する主要な製品等は次の通りである。

事業区分	主要製品名等
繊維	紡績糸、織物、編物、二次製品
研磨材	超精密加工用研磨材、不織布、合皮
化学工業品	化学工業製品
その他	車輛、自動車部品、電子機器製品、化成品、ボウリング場の経営

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	中南米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	424	335	760
II 連結売上高(百万円)	—	—	7,476
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.7	4.5	10.2

(注) ①国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

②本邦以外の区分に属する主な国又は地域

中南米・・・ドミニカ、トリニダード・トバゴ

その他の地域・・・アメリカ、タイ

③海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社は持株会社として製品・サービスについて国内及び国外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開している。

したがって、当社は製品・サービス別のセグメントから構成されており、「繊維事業」、「研磨材事業」、「化学工業品事業」の3つを報告セグメントとしている。

「繊維事業」は、紡績糸、織物及び編物などの素材から二次製品にいたる各種繊維工業品の製造、加工及び販売をしている。「研磨材事業」は、超精密加工用研磨材及び不織布の製造及び販売をしている。

「化学工業品事業」は、化学工業製品の製造及び販売をしている。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,654	2,283	1,461	7,399	1,431	8,830	—	8,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	0	—	4	13	17	△17	—
計	3,658	2,283	1,461	7,403	1,444	8,848	△17	8,830
セグメント利益	133	560	101	794	67	862	△2	860

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はない。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用している。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	金額(百万円)
繊維事業	1,976
研磨材事業	2,359
化学工業品事業	1,461
その他	373
合計	6,170

(注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については消去していない。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

## (2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
研磨材事業	2,335	848
化学工業品事業	452	1,406
その他	245	60

(注) 1 セグメント間の取引については消去していない。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	金額(百万円)
繊維事業	3,654
研磨材事業	2,283
化学工業品事業	1,461
その他	1,431
合計	8,830

(注) 1 セグメント間の取引については消去している。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りである。

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
住友商事ケミカル㈱	768	10.3	—	—

(注) 当第1四半期連結累計期間については、当該割合が100分の10未満のため記載を省略している。

3 上記の金額には、消費税等は含まれていない。